

芝生用除草剤

SURPRISE FLOWABLE

突き抜けるチカラ。



包装規格  
10×4本入

®・登録商標

※物化性・安全性

一般名	オキサジアルギル・オキサジクロメホン水和剤	
化学名および有効成分量	5-tert-ブチル-3-[2,4-ジクロロ-5-(プロパ-2-イニルオキシ)フェニル]-1,3,4-オキサジアゾール-2(3H)-オン…17.0% 3-[1-(3,5-ジクロロフェニル)-1-メチルエチル]-3,4-ジヒドロ-6-メチル-5-フェニル-2H-1,3-オキサジオン-4-オン…15.0%	
その他成分	界面活性剤、水等……………68.0%	
性状	類白色水和性粘稠懸濁液体	
安全性(製剤)	人畜毒性/普通物	魚毒性/A類相当

※適用雑草と使用方法

(2009年5月現在)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		オキサジアルギル・オキサジクロメホンおよび本剤の総使用回数	使用方法
			薬量	希釈水量		
日本芝	一年生雑草	雑草発生前	100~200ml /10a	200~300l /10a	2回以内	散布


⚠ 効果・薬害等の注意

- 使用の際は容器をよく振って均一な状態にしてから所定量を取り出すこと。
- 本剤は発生前の一年生雑草に有効なので、時期を逸さないように均一散布すること。
- 本剤は一年生イネ科雑草には効果が高いが広葉雑草(キク科など)には効果が劣る場合があるので、それらが優占する圃場では広葉雑草に有効な剤と組み合わせて使用すること。
- 本剤の使用により、黄化や生育抑制などの薬害を生ずる場合があるが、1~2週間程度で回復し、その後の生育に影響はない。
- 使用量に合わせ秤量し、使い切ること。散布器具及び容器の洗浄水は河川等に流さない。また、空容器は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

⚠ 安全使用上の注意

- 誤飲などのないよう注意すること。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので使用後は洗眼すること。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。使用後は洗眼すること。
- かぶれやすい体質の人は取り扱いに十分注意すること。
- 公園等で使用する場合には、使用中及び使用後(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係のないものが使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を与えないよう注意を払うこと。

★使用前にラベルをよく読む。★ラベルの記載以外には使用しない。★小児の手の届くところに置かない。  
●使用量に合わせ薬液を調製し、使い切ること。空ボトルは圃場などに放置せず適切に処理すること。

製造販売元  株式会社 理研グリーン  
〒110-0005 東京都台東区上野2丁目12-20 NDKロースビル  
TEL.03-3833-6321 FAX.03-3833-6325 <http://www.rikengreen.co.jp>

株理研グリーン・パートナーショップ

札幌支店 TEL.011(756)3891 FAX.011(758)1227 大 阪 支 店 TEL.06(6871)1691 FAX.06(6871)1811  
仙台支店 TEL.022(222)9599 FAX.022(267)6505 福 岡 支 店 TEL.092(752)8391 FAX.092(752)8392  
東京支店 TEL.03(3835)8134 FAX.03(3835)8136 クリーン研究所 TEL.0538(58)1282 FAX.0538(58)1714  
静岡支店 TEL.054(283)5555 FAX.054(284)1769 福 田 工 場 TEL.0538(55)5108 FAX.0538(55)5104  
名古屋支店 TEL.052(262)2861 FAX.052(251)3495




突き抜けるチカラ。



SURPRISE FLOWABLE

フロアブル

®・登録商標

 株式会社 理研グリーン

(包装規格: 10×4本入)

**サプライズ  
フロアブル  
の特長**

1

**除草効果が安定**

スズメノカタビラやメヒシバなど一年生イネ科雑草に対して安定した除草効果を示します。また、一部の広葉雑草に対しても有効です。

2

**発生前の雑草に効果あり**

長期持続型成分と処理適期幅の広い成分を組み合わせた、使い勝手の良い土壌処理型除草剤です。

3

**日本芝に対する安全性が高い**

4

**取り扱いの容易なフロアブル製剤**

計量や希釈が容易で作業性が良い。

**上手な使い方**

- 雑草の発生前に散布してください。既に発生が認められる場合は、アージラン等の茎葉処理型除草剤を組み合わせで散布してください。
- 広葉雑草には効果が劣る場合があるので、これらが優占する圃場ではダブルアップDG等、広葉雑草に有効な薬剤と組み合わせて散布してください。
- サッチが多い場合には、散布前にサッチ除去作業を行ってください。
- 本剤散布後は、処理層を守るため、更新作業等の土壌表層をかく乱する作業は避けてください。
- 寒地型芝草には葉害を生じる恐れがあるので、これらの周辺での処理では撒き込みに注意してください。

**【秋冬作】適用雑草に対する効果**

薬量0.15ml/m<sup>2</sup> (財)日本植物調節剤研究協会 委託試験より

試験地	ゴルフ場	薬剤処理日	散布水量 (ml/m <sup>2</sup> )	対象草種 (防除効果 %)	
				スズメノカタビラ	広葉雑草
宮城県	泉パークタウンG.C	2005.11. 8	200	100	タチヌノフグリ (100) オランダミミナグサ (97.4)
茨城県	勝田G.C	10. 7	200	91.3	タネツケバナ (98.5) オランダミミナグサ (100)
静岡県	リバー富士C.C	10.26	250	96.4	イヌノフグリ (100) ホトケナギ (100)
兵庫県	東広野G.C	9.20	250	93.8	
福岡県	西日本グリーン研究所	10. 4	250	98.6	オランダミミナグサ (100) ハコベ (93.6)
山梨県	メイプルポイントG.C	2006. 9.19	200	93.5	ヒメムカシヨモギ (100) オランダミミナグサ (93.6)

**【春夏作】適用雑草に対する効果**

薬量0.15ml/m<sup>2</sup> (財)日本植物調節剤研究協会 委託試験より

試験地	ゴルフ場	薬剤処理日	散布水量 (ml/m <sup>2</sup> )	対象草種 (防除効果 %)	
				メヒシバ	広葉雑草
宮城県	泉パークタウンG.C	2006.4. 4	200	100	オオノフグリ (100)
茨城県	勝田G.C	4.17	200	98.4	ハルジオン (100)
山梨県	メイプルポイントG.C	4. 7	200	100	
静岡県	リバー富士C.C	5.22	250	100	オオノフグリ (100) ハルジオン (100)
広島県	広島C.C	4.20	200	100	エノキクサ (100) ヒメムカシヨモギ (97.4)
福岡県	門司G.C	4.29	250	96.5	ウラボシチヂクサ (75) セイタカアワダチソウ (83.3)
福岡県	西日本グリーン研究所	4. 5	250	100	

**【日本芝に対する影響】**

(財)日本植物調節剤研究協会 委託試験より

試験地	ゴルフ場	薬剤処理日	薬量 (ml/m <sup>2</sup> )	散布水量* (ml/m <sup>2</sup> )	草種
神奈川県	保土ヶ谷C.C	2006.9.11	0.2	200	コウライシバ (影響なし)
			0.4	400	萌芽への影響なし
			0.8	800	
広島県	広島C.C	9.22	0.2	200	コウライシバ (影響なし)
			0.4	400	萌芽への影響なし
			0.8	800	
福島県	グランディ 那須白河G.C	10.31	0.2	200	ノシバ (影響なし)
			0.4	400	萌芽への影響なし
			0.8	800	
広島県	広島C.C	9.22	0.2	200	ノシバ (影響なし)
			0.4	400	萌芽への影響なし
			0.8	800	

\*重複散布を想定した試験

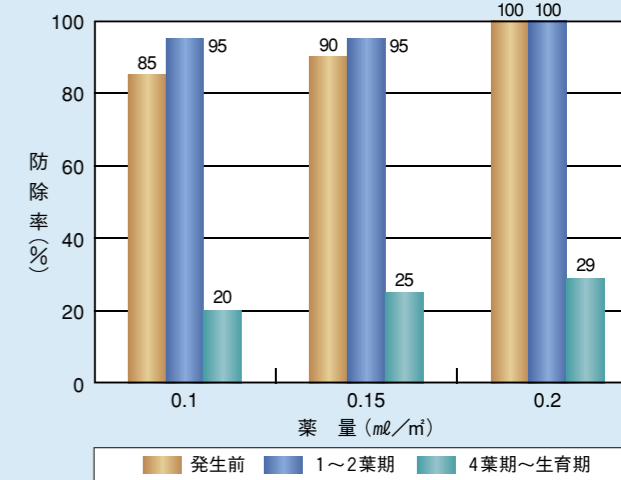


**スズメノカタビラに対する除草効果**

試験場所: (株)理研グリーン グリーン研究所 (ノシバ圃場 FW様管理)  
対象雑草: スズメノカタビラ  
薬剤処理日: 2008年9月17日 (発生前)、11月5日 (1~2葉期)、  
12月10日 (4葉期~生育期)  
試験調査日: 2009年3月4日  
(発生前168日目、1~2葉期119日目、4葉~生育期84日目)  
散布水量: 200ml/m<sup>2</sup> (展着剤添加なし)

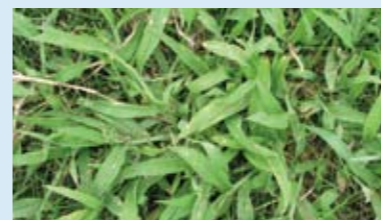


スズメノカタビラ



**メヒシバに対する除草効果**

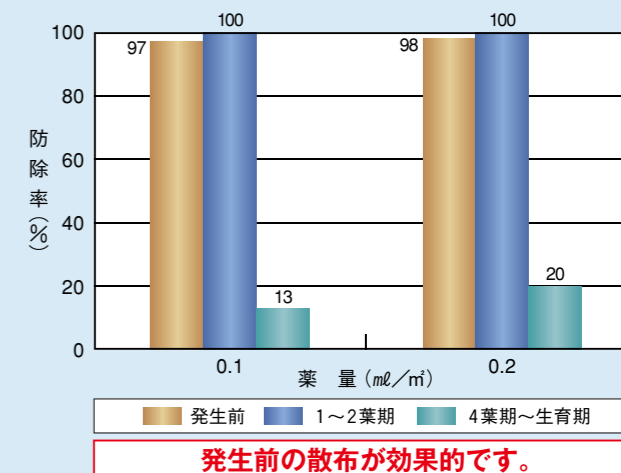
試験場所: (株)理研グリーン グリーン研究所 (コウライシバ圃場 FW様管理)  
対象雑草: メヒシバ  
薬剤処理日: 2008年3月5日 (発生前)、4月23日 (1~2葉期)、  
5月23日 (4葉期~生育期)  
試験調査日: 2008年8月7日 (発生前155日目)  
2008年8月27日 (1~2葉期126日目、4葉期~生育期 96日目)  
散布水量: 200ml/m<sup>2</sup> (展着剤添加なし)



メヒシバ

**メヒシバに対する除草効果 (処理124日後)**

社内試験/2008年4月5日処理 (発生前)



発生前の散布が効果的です。

**殺草スペクトラム**

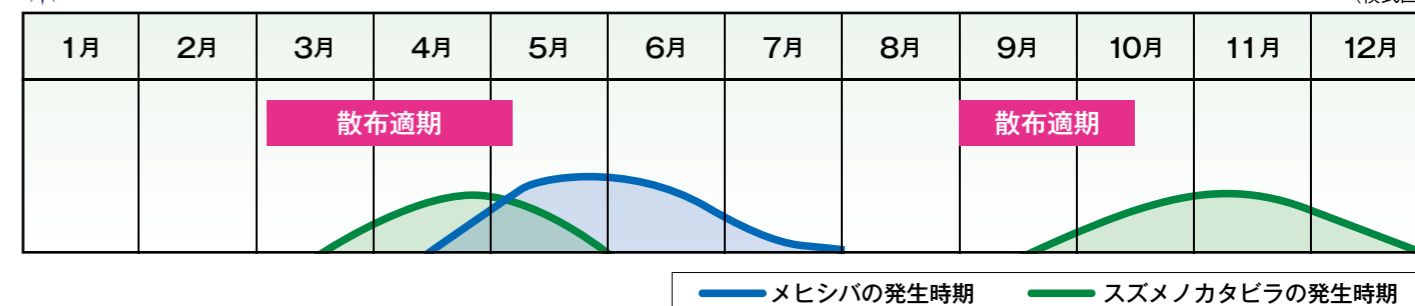
委託試験および社内試験結果より

処理量 (ml/m <sup>2</sup> )	スズメノ カタビラ	メヒシバ	ヤハズソウ	オランダ ミミナグサ	イヌノフグリ 類	ヒメムカシ ヨモギ	タネツケバナ	コニシキソウ
0.1	◎	◎~●	△	◎	□	□~◎	□~◎	□
0.15	●	●	□	◎~●	◎	◎	◎	◎
0.2	●	●	◎	●	◎~●	◎	◎~●	●

効果/●:極大 ◎:大 □:中 △:小 ×:効果なし

**雑草発生時期と散布適期の例**

(模式図)



—メヒシバの発生時期 —スズメノカタビラの発生時期